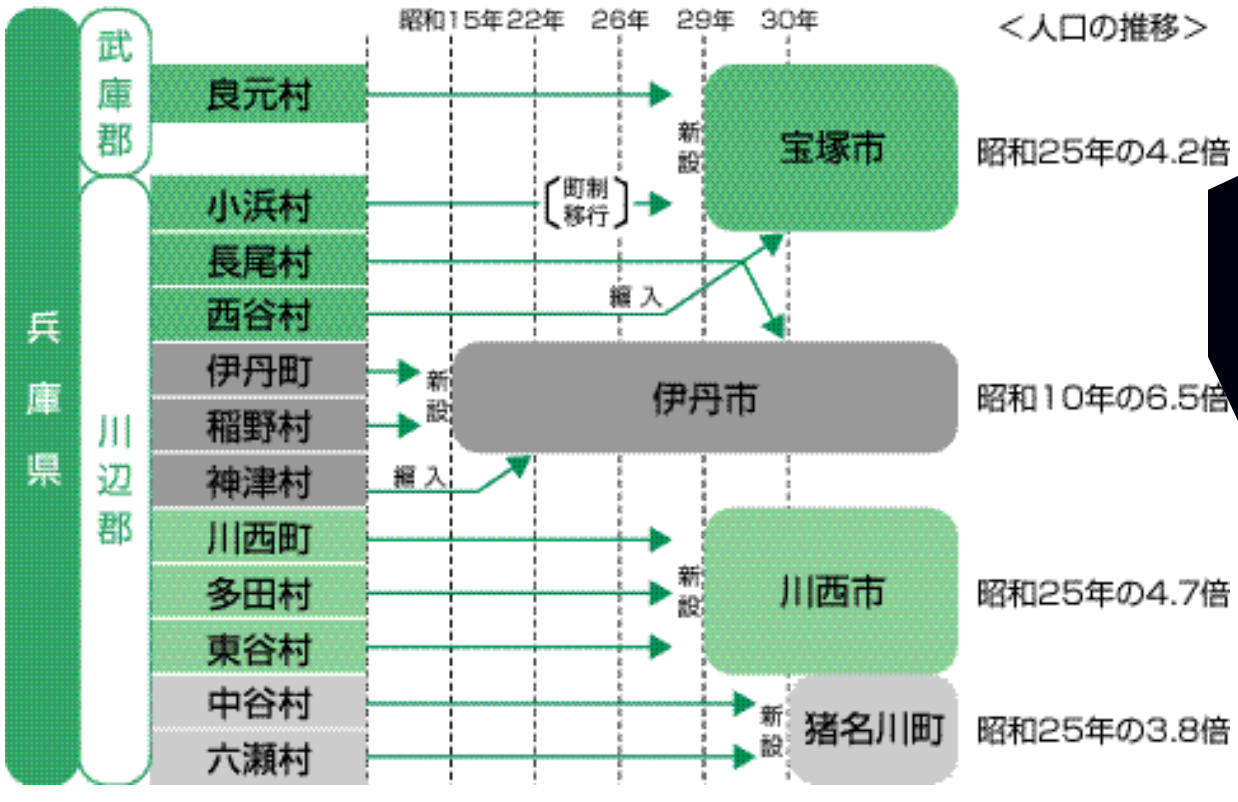
3市1町の変遷



成立過程

3市1町はいずれも、川辺郡の11の町村と武庫郡の良元村が昭和15～30年に合併して成立しました。

昭和15年には財政や都市化の問題に直面した伊丹町と稲野村が合併して伊丹市ができ、昭和22年には神津村も加わりました。義務教育制度が市町村の事務として加わった昭和23年には、伊丹市と長尾村の間で合併機運が高まり、川西町と小浜村も、長尾村と良元村を含む4町村の北摂都市建設計画を進めました。

小浜村は昭和26年に町制を施行（宝塚町に改称）し、町村合併促進法が施行された翌年（昭和29年）には良元村と合併し、宝塚市ができました。宝塚市は農村部の西谷村と住宅化の進む長尾村に合併を申し入れました。その結果、長尾村との合併について兵庫県が伊丹市・宝塚市との調整を行い、昭和30年、長尾村は宝塚市に編入、その一部が伊丹市に編入することになりました。西谷村も宝塚市に編入し、現在の宝塚市と伊丹市ができあがりました。

川西町は小浜村が町制に移行したのを受けて、大阪府池田市を加える越境合併論と多田村、東谷村と合併する案が持ち上がり、昭和29年、後者の案が実現して川西市ができました。

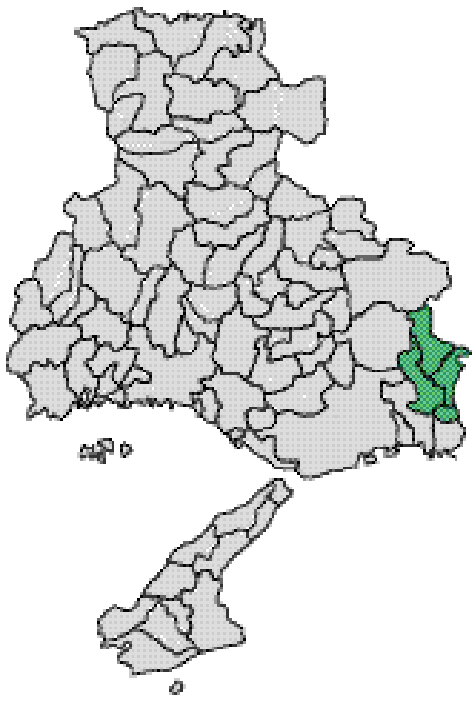
昭和30年には、中谷村と六瀬村が合併して猪名川町ができました。当初は東谷村を含む合併も研究していましたが、2村での合併となりました。

成立後の変遷

現在の人口は、最も合併の早かった伊丹市で合併前の6・5倍、宝塚市、川西市、猪名川町も4～5倍に急増しています。この間、大阪圏の衛星都市として人口流入が進み、小中学校や医療・保健・福祉施設の整備をはじめ、新たなサービスの供給に取り組んできました。

また、阪神工業地帯に隣接し、中国自動車道などの幹線も整備されたことから、産業集積の受け皿としての役割も求められました。

仮に、旧町村が合併しないままでいたならば、人口増加や産業化に対して広域的な観点から対応することは容易でなかったものと思われます。



昭和23年開通当時の伊丹市営バス（札場の辻）

昭和29年宝塚市制施行記念式典

昭和32年当時の川西市役所

昭和30年の町制施行当時の猪名川町役場

「広域行政に関する意識調査（アンケート）」を実施します

3市1町に在住の16歳以上の8,000人を無作為に選び、12月2日(月)、調査票を発送します。これは、住民の皆さんが3市1町の圏域全体に対して持っている共通のイメージや圏域の将来の姿を把握するとともに、市町合併に対する関心などを調査し、今後の広域行政のあり方を検討するための参考にするため実施するものです。調査票が届いた方は、調査にご協力くださいますよう、よろしくお願いします。

阪神北部広域行政研究会の活動状況は、各市町のホームページでもご覧いただけます

伊丹市　http://www.city.itami.hyogo.jp/h_koiki00.html
宝塚市　http://www.city.takarazuka.hyogo.jp/hhkk/hhkk1.htm
川西市　http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/mado/kouki/kouki/mn.htm
猪名川町　http://www.town.inagawa.hyogo.jp

この特集号は伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町で新聞折り込みしています。